



一人ひとりが前向きな生徒会に

4月末の全校集会、5月半ばの生徒総会、そして、先日の6月全校集会と、生徒のみんなが前面に出て活躍したり運営したりする場面が続いています。生徒自身が自治的な活動を展開する 簡単なことのようにですが、リーダーが自覚を持ち、全校生徒がそうした思いを支持し活動に加わっていくという条件が整わなければなかなかできることではありません。ですから、今は、とてもよい雰囲気の中で生徒会の活動ができていっていると言ってもいいのではないのでしょうか。きっと生徒会執行部も満足しているだろうな、そんな思いで生徒会長に話を聞くと、意外な答えが返ってきました。

「生徒総会は、一部に下を向いていた人がいたのが残念でしたが、過去2年間と比べると静かに話を聞いてもらうことができました。それだけに、私たち執行部の側がもう少し準備をしっかりとすべきだったと反省しています。みんなの意見に紙を見なくても大きな声で堂々と答えられるようにしておけばよかったと思います。これからも、石部中学校をよくしていくために生徒会活動に力を入れ、もっとがんばっていかないとはいけません。執行部はひとまえて話す力をつけ、新しい活動にも取り組んでいきたいと思えます」

一部、生徒会長のコメントを組み立て直しましたが、しっかりした思いを持って語ってくれたことに間違いはありません。確かに、目標としていたことが達成できたとき、「できたぞ!」と喜びたくなるものです。何人もの力を合わせて実現したときには喜びをわかち合うことも大切です。でも、そこで満足してしまったら、それ以上の進歩はありません。喜びのコメントの中に次の課題を見つけ出す生徒会長に、自分の立場から自分ができることで協力をしていきましょう。(以下、6月全校集会の内容から一部を紹介します)

4月の全校集会(抜粋)

入学から1か月の思い
(1年生学級委員6名)
2年生になって
(代表による作文発表)
修学旅行の報告
(修学旅行実行委員長)

6月の全校集会(抜粋)

歯の健康について
(保健安全委員長)
ごみゼロの日について
(環境委員長)
週番活動について
(生活委員長)
図書館の開館について
(図書委員長)
ベルマーク収集、「手をつなぐ子ら」の鉛筆購入の呼びかけ(生徒会長)

歯の健康について

今日は保健安全委員会より歯の健康について話をします。

6月4日はむし歯予防デー。この日から10日までの1週間は「歯の衛生週間」で、大切な歯をむし歯や歯肉炎等で失わないためにどうすればよいか、自分で考えるよい機会です。委員会から、石中生の歯の健康を守るためにみなさんにやってほしいことを提案します。

まず、毎日の歯みがきをきちんとやりましょう! 歯肉炎やむし歯の原因となる歯垢を歯みがきでしっかり落とし、ひきしまつてピンク色をした健康な歯肉を保ちましょう。軽い歯肉炎なら毎日の歯みがきで治すこともできます。食事の後はみんな歯みがきをし、鏡で口の中をチェックしてみましょう。

次に、食事はしっかり噛んで食べるようにしましょう。「しっかり噛んで」と言っても、具体的にどのくらい噛むとよいか知っていますか? それは、ひと口30回くらい噛むこと。よく噛むことで歯も歯ぐきも健康になります。学校の給食で「カミカミメニュー」の日がありますが、この日は歯ごたえのあるメニューが出されますね。献立を考えてくださる栄養士の先生も噛むことを勧めくださっているのです。私たちの歯は全部そろると32本。でも、そのうち奥歯を1本でも失うと、噛む力は40%もダウンし、歯並びのゆがみや頭痛・肩こりを引き起こすもとになるそうです。

今日の給食から意識してかむ回数を増やし、「食べたらみがく」を行動に移して、いつまでも健康な歯や歯肉を守りましょう! 保健安全委員会は、石中生の健康を応援しています!

【保健安全委員長】



ごみゼロの日について

みなさん、5月30日は何の日か知っていますか？ 5・3・0の語呂合わせから、「ごみゼロの日」とされているのです。「ごみゼロの日」は、美化活動・ごみの減量化・再資源化を促すために設けられました。

この日から6月5日までの1週間は、『ごみ減量・リサイクル推進週間』。全国各地で路上清掃などの美化清掃活動が行われます。湖南省でも、5月23日から6月6日にかけて、区や自治会ごとに「ごみゼロ大作戦」という清掃活動が行われています。



ところで、一人の人間が1日に出すごみの量はどれくらいだと思いますか。

世界規模で見たとき、一番多いのがアメリカ合衆国の都市部で2～3kg、一番少ないのが南アメリカ、アフリカ、アジアの田園地帯で100g、日本は約1kgとされています。(全校集会では、1kgのごみがどれくらいの量であるか、袋に入れたごみを見せてくれました)

人間が生活していればごみが出るのは当たり前。なのに、なぜごみが問題になるのでしょうか。

出されたごみは燃やしたりどこかに埋め立てたりして処理しなければなりません。そのとき有害な物質が出るのがよくないのです。では、どうするといいと思いますか？

捨てられたごみを燃やしたり埋め立てたりしないで、別の製品に作りかえることを「Recycle(リサイクル)」と言いますね。例えば古新聞をトイレトーパーなどにリサイクルすると、原料は本来の25～30%ですみます。アルミ缶をリサイクルした場合は、原料から作るときと比べてたった3%のエネルギーで加工できるのだそうです。しかし、リサイクルが一番いいとは限りません。リサイクルするということは、ごみを別のものに作りかえるということですから、どれだけ効率的に進めたとしても、その時には必ずエネルギーが必要となります。空き缶や古新聞を集めるのに「ごみ回収トラック」を走らせると、そこでもエネルギーを使ってしまう。つまり、ごみの全体量を減らさなければ、本当の意味で環境を守ることはつながらないのです。

そこで、リサイクルに行き着くまでに、牛乳びんを洗って何回も使うように『Reuse(リユース) = 再使用』することが大切です。さらにその前に、買い物に行くときはトートバックなどを持参して袋をもらわないなど、『Reduce(リデュース) = 無駄を減らす』ことが大切です。

まず、

リデュース	= 無駄を減らす
-------	----------

次に、

リユース	= くり返し使う
------	----------

それでもだめなら、

リサイクル	= 再利用する
-------	---------

「ごみゼロの日」をきっかけとしてごみについて関心を持ち、『3つのR』を意識しながら自分たちでできるごみを減らす取り組みを進めていきましょう。 【環境委員長】

民生委員さんとの懇談会

5月28日、民生委員・主任児童委員さんとの懇談会を実施しました。これは、毎年行っているもので、地域のかたに学校の様子を知っていただくというねらいももっています。みなさんは学校からの報告を一様に安堵の表情で聞いてくださり、民生委員さんからもうれしい知らせを聞かせていただくことができました。それは(全校集会での校長先生の話にもありましたが)「登下校時にあいさつをしてくれる中学生がとて増えてきた」ということ。これは石小学区でも南小学区でも共通することのようで、この懇談会以外でも耳にすることが多くなってきました。

知っている人はもちろん、知らない人にもあいさつをすることで、すがすがしい輪が広がっていきます。朝、あいさつを受けた側は言うまでもなく、勇気を出して声をかけた人には「よし、今日もがんばるぞ」という気迫がさらにみなぎるのではないのでしょうか。

(各ご家庭で困ったことがあれば地域の民生委員さんにご相談を)



5月31日付け文書でお知らせした1階のカギについては、6月1日に点検および取替を実施しました。